

あじがさわ

発行…青森県鱒ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鱒ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



津軽自動車道「鱒ヶ沢道路開通」 7月30日、鱒ヶ沢道路（延長3.4km）の開通式が行われました。

当日は、舞戸小学校三味線部・鱒ヶ沢中学校音楽部（三味線）や蒼海海鳴り太鼓の演奏などで開通を祝い、津島淳国土交通大臣政務官、三村申吾県知事、木村太郎衆議院議員、東條町長をはじめ多数の関係者の出席のもとテープカット、くす玉開披が執り行われました。同道路開通により、緊急輸送の時間短縮、物流の効率化や観光振興など地域の活性化が期待されます。

〔写真〕①鱒ヶ沢道路の起点側 ②南浮田IC（左車線は五所川原方面への入り口） ③一般開通直後の鱒ヶ沢IC

6月
定例会号

- 2 第2回定例会の概要
- 3 議会改革特別委員会を設置
- 4 議員行政管内視察・研修会
- 5～7 一般質問（3議員）
- 8 特集 新連載～まち再発見～

平成28年 第2回定例会

6月1日～6月3日



一般質問の傍聴者は婦人団体等、町職員も含め28名でした

平成28年第2回定例会が、6月1日から6月3日までの3日間の日程で開かれました。

1日の開会日には、室内温水プール大規模改修工事(二期工事)請負契約の締結などの議案8件のほか報告2件、意見書案1件が上程されました。

2日には、一般質問が行われ、3人の議員が諸問題を取り上げ町側に答

弁を求めました。(一般質問の内容は、5ページから7ページに掲載)

また、最終日には議員発議として、鱈ヶ沢町議会改革特別委員会設置に関する決議が上程されました。

審議の結果、上程されたすべての議案は、全会一致で可決、承認されました。

4月発生強風被害 復旧事業費1129万円を承認

6月定例会に上程された主な議案等は次のとおりです。

キヤタピラー東北株式会社弘前営業所
仮契約額
2354万円

▽専決処分報告
◆平成28年度町一般会計補正予算(第2号)

- ・観光基盤強化事業 3009万円
- ・セキユリテイ強化対策事業 1842万円
- ・大高山総合公園大型遊具及び遊具修繕事業 1384万円
- ・自生植物等調査事業 645万円

(予算額は、一百万円未満を切り捨て表示)

▽長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の一部改正

専決処分された主な補正額は次のとおり。

- ・平成27年度町公共下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書(報告)
- ・公共下水道事業 834万円

▽工事請負契約の締結
町室内温水プール大規模改修工事(二期工事)

コミュニティバス運行業務を加えるもの。

4月17日から18日発生
の強風被害による災害復旧事業費の予算措置に急

- ・大高山総合公園テニスコート 510万円
- ・ビームライフル射撃場 194万円
- ・長平旅行村バンガロー 183万円

・仮契約業者
茶谷工業株式会社

▽平成28年度町一般会計補正予算(第3号)

〈主な復旧施設〉

- ・繰越明許費とは
- その年度内に支出を終わらない見込みがある経費を翌年度に繰り越して使用することができるように、議会の議決を経て定めること。

・仮契約額
5821万円

歳入歳出それぞれ1744万円を追加し、歳入歳出予算総額を72億1488万円としたもの。

・平成27年度町一般会計予算繰越明許費繰越計算書(報告)

- ・28年度に繰越した事業は次のとおり。
- ・年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業 7506万円
- ・畜産競争力強化対策整備事業費補助事業



平成8年に建設された室内温水プール

主な補正額(歳出)は次のとおりです。

◆総務費 802万円
(庁舎ボイラー修繕等)

◆意見書案第1号
「世界自然遺産の保全管理にかかる全国的な予算枠の拡大を求める意見書」

◇商工費 650万円
(インバウンド推進事業費等)

◆教育費 103万円
(外国青年招致推進費等) ※外国語指導助手

◆提出先【内閣総理大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長。

◇財産の取得
除雪ドーザー一台の購入

外国人旅行の意味。

【提出先】内閣総理大臣、環境大臣、衆議院議長、参議院議長。

▽財産の取得
除雪ドーザー一台の購入

外国人旅行の意味。

外国人旅行の意味。

外国人旅行の意味。

鯉ヶ沢町議会改革特別委員会を再設置 議会改革を推進

本定例会最終日、議員発議として鯉ヶ沢町議会改革特別委員会設置に関する決議が提出され、全会一致で同委員会が設置されました。今後、委員会では付託された案件について議論を重ね、議会改革に努めていくことにしています。



趣旨説明をする長谷川議員

鯉ヶ沢町議会改革特別委員会は、改選前の議会においても設置されており、平成27年3月から28年3月までの間、様々な事項について議論しましたが、議員の任期満了のため自然消滅。今回、再設置された委員会では、前委員会で議論された事項について継続して調査検討し、町民の方に開かれた議会として様々な改革を進めていくことにしています。なお、長谷川議員による同委員会設置の趣旨説明（一部抜粋）、付託案件等は次のとおり。

趣旨説明

現在、地方分権の進展とともに議会の果たす役割が、ますます重要となってきた。今期の議会においても議会機能の充実強化と議会運営の効率化を図るため、引き続き議会改革を進めていく必要がある。よって、自らが議会改革に取り組み、町民に対して開かれた議会、わかりやすい議会を確立させ、町民の負託に迅速かつ的確に対応し、町民に必要とされる議会づくり

を進めるため設置するのである。

【付託案件】

- ・議会活動に対する住民理解の促進に関すること。
- ・議会活動の広報広聴機能の充実強化に関すること。
- ・議会活動の公開性向上に関すること。
- ・議会議事運営の効率化に関すること。
- ・その他議会改革に関すること。

【委員構成】

(定数6名)

- ◎委員長 長谷川統一
- 副委員長 東條一彦
- 委員 菊谷忠光
- 委員 今勝義
- 委員 新保勝敏
- 委員 鶴田悦子

本特別委員会では、今年度、中学生の模擬議会、また、昨年開催し好評だった夜間議会を実施する予定です。その他、議会報告会の開催に向け、準備作業を行い、各付託案件について検討していくことにしています。



特別委員会の審議風景

9月 夜間議会 開催予定

9月定例会の一般質問は、昨年に引き続き、夜間（午後6時から）に開催する予定です。

日中、仕事等で傍聴できない方はこの機会にぜひ議場へお越しください。（傍聴席は46席です）

なお、日程は議会運営委員会で決定後に、町のホームページ、防災無線等でお知らせします。



※昨年は、午後6時から開催。6人の議員が一般質問をしました。傍聴人数は、町民、職員を合わせて36人でした。

※平成27年3月定例会から、開かれた議会並びに職員研修の一環として、町職員の議会傍聴を実施しています。

総括質疑

第2回定例会最終日の総括質疑では、次のような質疑がありました。

▽平成28年度一般会計補正予算（第3号）

【質疑】齋藤孝夫議員

強風被害によるビニール処分の補助金について具体的な方法は

【回答】

4月17日から18日発生の強風により被害を受けた農家に対し、ハウス破損ビニール等の処分費を補助するものです。

農協の協力を得て、2日間にわたりビニール等を回収し、重量を計測。農家はその処理料金を農協へ支払います。

農協は町へ重量を報告し、補助金を申請。その後農協から各農家へ入金となり助成されます。



鳴沢地区で回収されたビニール等

平成28年度管内行政視察 新消防庁舎など4箇所を視察

町議会では、各事業等の進捗状況確認のため6月14日に管内視察を行いました。

視察場所は、新消防庁舎建設地、七里長浜港、101号鰯ヶ沢道路、大高山ニュータウン予定地の4箇所です。このページでは、その視察内容を皆さんにお知らせします。



新消防庁舎の建設現場（6月14日時点）

6月14日に行った管内視察には、議員11名が参加。そのほか副町長、町担当部署、議会事務局が同行しました。

はじめに、新消防庁舎建設地で、請負会社（株）マルノ建築設計か

ら工事の進捗状況を確認しました。このなかで、議員からの「地震が来ても地盤は沈まないか」、「緊急車両出動の際、住宅街を走行する時は、住民に迷惑をかけるないようにしてもらいたい」といった質問、要望に対し、町担当部署からは「地盤については、設計会社がきちっと設計している」「盛り土については、鰯ヶ沢道路工事で発生した質のよい土を利用して埋戻し、締め固めをするので沈むことはない」「緊急車両は、住宅街の中は音を下げた走

行する」と回答がありました。次に、七里長浜港を視察しました。担当課から、昨年度、港の取扱貨物数量は過去最高の20万トンを超え、その5割以上が砂の移出。南防波堤の整備は、平成30年度に完成予定と説明がありました。

そのほか、飼料用米のサイロ（貯蔵施設）構想について町が係わる範囲やメリット、また港の将来に関する議員の質問などに対し、サイロの建設には、新たに土地の整備が必要。高い建築物は国定公園の規制もあり、構想の実現には課題もある。町として今後は、県と協議して荷役関係の整備も含めて考えていきたいと答えていました。

この後、101号鰯ヶ沢道路の建設現場に移動。起点側から終点までの延長3・4キロメートルを走行し、その間、4地点において青森河川国道事務所から工事の進捗状況等を聞きました。

また、同道路はハーフインターといわれ、一方向に乗降するインターチェンジを採用している」と説明がありました。議員からは、昨年ゲリラ豪雨で付近の田んぼが水没したこともあり、盛り土区間の排水、河川への流れや田んぼへの砂堆積を懸念する声がありました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。



パネルを使った説明に対し、質問をする各議員

それに対し、道路の建設により水量が多くなる等の影響はない。水の流れを確保し、稲刈り終了後、中だるみが見られる所は高さを計測し直し、高さを調整する予定と青森河川国道事務所から回答がありました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

最後に、一行は大高山ニュータウン予定地を視察しました。

町村議会議員研修会 議員11名が参加

7月14日、青森県町村議会議長会主催による県下町村議会議員研修会が青森市で開催され、町議員11名が参加しました。

本研修会は、毎年開催されているものですが、今年はテレビ朝日コメンテーターで青森県出身の川村晃司氏が「これからの政局・政治動向」と題して講演を行いました。

川村氏は、集まった県内の町村議員に対し、先の参議院議挙においての本県の投票率上昇、選挙の争点となったアベノミクス、またイギリスのEU離脱による日本経済の行方等について持論を述べていました。



講演する川村 晃司氏（県出身）

一般質問とは、定例会において町政における一般事務について質問したり、施策の提言をしたりすることです。今定例会の一般質問の内容をお知らせします。



鶴田 悦子議員

災害から身を守る意識づけの施策は

問・自然災害から住民の命と財産を守る活動はいかにあるべきか。

意識向上の面から、防災教育について、町民への意識づけについて町ではどのような考えを持っているのかお知らせください。

答弁・総務課長

ひとたび大規模な災害が発生すると、その被害を防ぐためには国、県、町の公助だけでは限界があります。

このため、自分の身は自分で守る自助と、地域や近隣の人々が互いに助け合い、防災活動に取り組む共助が必要になります。

こうしたことから、町では今年度、防災の専門

中村川河口に堆積した土砂の撤去を 答へ(県関係機関と協力し6月に撤去)

的見地を有する危機管理専門員を採用する予定となっています。

この専門員を通して自助、共助、公助の意識を高めるための防災教室、防災講演、自主防災組織の設置支援、防災訓練等を行っていく予定です。

具体的な事業としては、町の小学校、中学校において、弘前大学の協力を得、危険な箇所を勉強するためのワークショップ、講演会の実施、また、一般住民に対しては、県の防災事業を活用した防災セミナーなどを実施することとしています。

河口に堆積した

土砂の対応は

問・中村川の河口は、せきとめられたかのようになっていて、突堤側をやっと流れている状態になっています。



堆積した土砂を撤去する重機 (6月21日)

行政側では、堆積した砂利は増水の折に流れてしまうので大丈夫だと見

ているようですが、現場へ行ってみると、川から流れ寄った砂利ではなく、海水によって寄せられた砂利ではないかと思われるのです。

堆積した砂利の撤去は考えていますか。

答弁・建設課長

中村川の河口部の堆積土砂については、事あるごとに河川を管理している県のほうに撤去、浚渫(しゅんせつ)などの要

望を行っています。

現在、川を担当している鱈ヶ沢道路河川事業所、漁港区域を管理している西北地方漁港漁場整備事務所と町が協力して、6月下旬にあの土砂を可能な範囲で撤去したいと取り組んでいるところです。

問・中村川の河口の水の流れ、堆積した土砂の状態を見て、大雨のときに大丈夫だと考えていますか。

答弁・副町長

鶴田議員から12月議会でも質問があり、現場を確認しています。

景観上の問題もあることから、土砂の撤去を道路河川事業所の所長、漁港事務所の所長にお願いしており、経費的な問題もありますが、6月下旬に行くということであり



中村川洪水ハザードマップ。中村川が氾濫した時の浸水状況がしめされています。

舞戸地区の水害時の避難誘導は

問・舞戸地区の水害時の避難誘導はどのようになっているかお聞きします。

答弁・総務課長

中村川には、警戒基準が定められており、避難判断水位という基準に達した場合は、庁内に災害対策本部を設置します。本部においていろいろ

な状況を見ながら危険と判断した場合は、洪水の

ハザードマップで浸水区域に設定されている区域に対して避難勧告、避難指示を発令しています。

避難勧告、避難指示を発令した場合は、速やかに舞戸小学校、中央公民館の2か所の避難所を設置し、防災無線、広報車を使って避難の誘導をしています。

意見・舞戸小学校は、水害時の避難所としてはいいのですが、津波が想定される場合は、旧鱈一中まで逃げなければならぬ。そのことを周知徹底していただきたいと思



長谷川統一議員

鳴沢川排水ポンプの早急な対策考慮を 答へ町として応援体制を構築し支援へ

鳴沢川の氾濫を防ぐ対策は

問・近年ゲリラ豪雨が多发し、当町においても毎年被害が出ています。

鳴沢川の氾濫を防ぐため対策をどのように考えているのか、お答えください。

答弁・建設課長

鳴沢川は、青森県が管理している二級河川ですが、近年のゲリラ的な大雨により堤防が破損した箇所や越流した箇所があります。

県では、越流箇所などの調査を行い、随時改修をしていくとのことですので、今後も県と連携をとりながら、災害等が発生しないよう対応していきたいと思っています。
問・鳴沢川下流域では、大雨の際、排水ポンプで



排水ポンプが設置されている川尻排水機場

用水を川に戻し、水田の水没から逃れているようでありませぬ。

しかし、ポンプが旧式

で、補修の部品等も生産中止になっているため故障した場合、修繕ができませんという話であります。

早急に対策を考えなければならぬと思います

が、町の考えはどうか、お答え願います。

答弁・農林水産課長

排水ポンプが設置されて

ている川尻排水機場の管理運営は、鳴沢土地改良区にお願いしています。

排水ポンプは、平成10

年度から12年度にかけて更新していますが、部品は作られていないということで、破損した場合は、その箇所によっては対応できない部分があります。

問・停電等になったときに、ポンプが作動しないという現状は理解できているのでしょうか。

答弁・副町長

応援協定という趣旨から、中村川の例を見ても今まで速やかにリリースはされています。

要は、いかに早くそれらの事態を察知して行動するかということでありませぬので、今後も速やかに対応したいと思ひます。

また、排水ポンプの管理は、鳴沢土地改良区に

委託していますが、町としても応援態勢を取る必要があるのではないかと考えています。

土地改良区の職員にマニュアルを作成してもらい、それをもとに農林水産課等が機動的な体制を構築するような支援を考えたと思っています。

若い世代への社会教育の施策は

問・社会教育の推進についてお聞きします。

この件に関しては、私が議員になって以来、何となく議論してきまして、なかなか進んでいません。

残念ながら今年度の教育費にも余り計上されていませんが、今年度、社会教育として、特に若い世代への施策としてどのようなことを考えているのか、お答えください。

答弁・教育課長

今後の地域課題の解決や地域の活性化には、若い世代が中心の担い手、リーダーとなつていただ

かなければならないことは事実であります。

そのため今年度は、現状の組織や各団体の洗い直しを行い、地域づくりの観点から地域がやりたことを把握するため一緒に活動内容を決めていく取り組み、また、熱意ある若者などにきっかけを与える取り組みを展開します。

それが地域を支える人材育成につながればと考えています。

意見・自分たちが自分たちの地区を守っていくのだという思いにならないければ、住民自治というのは成り立たない話でありますので、当初予算にせていただいで積極的な関与をお願いしたいと思います。

※長谷川議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆自主防災組織の現況と

有事の際の対策について

◆公募制補助金の実施状

況と今後の展開について



齋藤 孝夫議員

町長車の使用について第三者機関の調査を 答へ違法な使用はなく調査はしない

昼食に帰るのは町長車の私的使用では

問・町長の公用車使用について質問します。

町長は、原則、勤務時間が決まっていないようですが、朝出勤し、昼家に帰り、昼食後また役場に出て、夕方家に帰る、これがパターンのようでもあります。

町民から見れば、昼食をとるために公用車で家に帰るのはいかがなものかと、見えているようですが、現実、私的に利用にならないかどうか、お聞かせください。

答弁・総務課長

町長は、法律上の特別職になっており、勤務時間、服務は定められていません。

職務は広範囲にわたり、業務によっては、深夜に

まで及ぶこともあり、休日にも公務が優先されることとなります。

こうしたことから、公務日程を機動的かつ円滑にこなすため、移動については町長車が配置されています。

東條町長の一般的な公務の状況は、午前中が9時ごろから昼ごろまで、午後が1時ごろから4時ごろまでとなっていますが、一般的な公務という日はかなり少なく、5時過ぎてからの会合もあり、東京出張なども少なくありません。

私的に利用しているのではないかという指摘については、昨年1年間の利用状況を確認しましたが、一切なかったことを報告します。

問・一般町民の目から見れば、町長車で昼に帰っているのが私的使用、税

金の無駄遣いと映るのではないかということですが、東京都知事のように第三者の厳しい目で、しっかり調査検討するということをしないのですか。

答弁・総務課長

例えば昼食のため昼に帰っているということですが、庁舎などからの公務の移動は、町長車の利用ができるということですので、違法に当たりません。

町民の方から見た指摘ということですが、町長自体の勤務が休日、あるいは夜など不規則でありますので、その勤務の状況を見て午前、午後勤務、できれば昼の間は休息ということを考えています。

一般職とは少し違うという解釈をしていただけではないかと思えます。第三者委員会の調査等

は、私的な利用はないと確認していますので、考えていません。

問・町長車を使って昼食を家にとりに行く、このことについては、解釈の仕方がいろいろあると思いますが、町長、これからも今までもどおりの利用の仕方をしていくつもりですか。

答弁・町長

総務課長が言ったように、私的には利用していません。

町民に誤解のないように的確に判断した上で、これからも使用していく考えであります。

コミバスの入札方法は

問・コミュニティバス運行についてお聞きします。

今後の入札の方法など一連の流れはどうなっているのか、お知らせください。

入札の概要は、中型バスの2ブロック、ジャンボタクシーが走る部分の全部で3本の入札となっています。



スクールバスで登下校する小学生（西海小）

さい。

答弁・政策推進課長

従来、コミュニティバスの入札は、指名競争入札という手法でしたが、町民から疑義が持たれるのではないかと、見直しをし、一般競争入札という手法に変更しています。

入札は、6月7日に実施する予定です。

問・以前の答弁で、指名競争入札は、町関連規則にはなるべく5者程度とあるものの2者でも可能

であることでしたが、なぜ他町村の業者を入れた一般競争入札にしなければならぬのか。

今後、いろいろな工事においても、地元の仕事

を地元の業者がするという観点から、町内の業者だけで指名入札したほうが良いと思うのですが、考え直すことはないのか

副町長にお聞きします。

答弁・副町長

ご指摘のとおり、現在、地元の土木建築業者は不況のあおり、公共工事の減などによりかなり減ってきているのは実情であります

ますが、町の建設業者等指名規則に目安として5者程度にすべくという基準が記載されています。

もちろん地元でできるものは地元で、それは当然私も同じ願いであります

が、やはり一つの基準となる5者程度というの、透明性、公平性、競争性を高めるといふ意味からも、これは今しばらく遵守していきたいと考えています。

特集 ~まち再発見~

鱈ヶ沢町に住んでみて Vol. 1



建石町 木村 美穂さん

(東京都 江戸川区出身) りんご農家の夫哲也さんと子ども4人、夫の母・祖母との4世代暮らし。

今月号から特集「まち再発見」に「鱈ヶ沢町に住んでみて」を連載します。
町外出身の方に鱈ヶ沢町の魅力や普段、生活のなかで感じていることをお聞きします。私たちが気づかない、新たな町の発見があるかもしれません。
第1回は、菊谷忠光広報委員がインタビューしました。

Q 東京で夫の哲也さんと出会い、哲也さんのUターンを機に結婚し、27歳で鱈ヶ沢町にきた美穂さん。
Q こちらに来るのに抵抗はなかったですか。来たときの町の印象は。
A ずっと家から出たいというか、自立したいと思っていただけから、いい転機にもなったのかなと思って。最初はペーパードライ

Q こちらの人の印象は。
A イメージ的には、青森の人は無口な人が多いという印象が一般的にありますが、みんな明るい。私は、津軽の人はラテン系だと思います。
Q 言葉はどうでしたか。
A 始めはわからなくて早口だとさっぱり。標準語で話すので敬遠される気がして、今は、津軽弁でなるべく話すようにしています。もう、東京に行くとなまってるって言われます。
Q 暮らしてみても、困っていることなどはありませんか。
A 最初の頃は、結構雪が多い年があり、大変だなと思いましたが、最近

は、雪がないと冬場は体を動かさないので、あった方がいいのかなと思っています。
Q 今、町に対して思うことは。
A 海も山もあって日本で探してもなかなかこんな環境はないと思うんですよ。
Q 地元の人は何もないって言うけど、あると思います。でも、人がいないから自然がきれいなのかもしれません。
Q すごく難しいことだと思うけども、観光などにもう少しかせれば。
Q 私もUターン組ですが、地元の人は遊びが下手というか、自然と戯れるのが少ないかな。
A アウトドアなどがはやってるので、もう少しそういうのができればいいのかなと思います。
Q 最近、やってみたいことはありますか。
A りんご農家で休みがないから、子どもと遊ぶことがなかなかできないので、自然、例えば山に

登るなどしてみたいですね。
Q 新しい商売などは。
A こういう仕事をしていけば、加工などしないとやっていけない部分もあるのかなと思います。
Q 木村さんは、ふるさと納税のお礼品へりんごを提供していますが、販売の他に何かやる考えは。
A (夫の哲也さん) 若い時は、ここは景色もいいから冗談でカフェとかいいよねという話も出たけど(笑)。
Q 町で商売しても人が来なくて大変かなと。でも、県外のイベントで町の物産を売ると、お

客さんの反応が違うし、地元の若い人が集まって何かできることがあるのではないかなと思います。
Q 議会広報は見たことありますか。
A 自分の身近な問題は見ます。こんなことを町がやっているんだと、知らないことがわかります。質問等が載っていて、意見が交わされているのがわかるので、いいと思います。
Q 議会の傍聴については。
A 忙しいので傍聴は無理ですが、知らせるといいうのは大事だと思います。



岩木山が望むりんご畑にて 木村哲也さん・美穂さんご夫婦

りんごの袋かけの忙しい最中、インタビューにご協力いただきありがとうございました。